

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 6 ・ 7 年度遠賀川水系の持続可能な川づくり方策調査検討業務
業 務 概 要	計画準備 1 式 資料収集及び整理 1 式 維持管理しやすい川づくり方策の検討 1 式 流域治水の取り組みを展開するための方策検討 1 式 河川協力団体等との協働のあり方の検討 1 式 U A V 写真測量 1 式 U A V レーザ測量 1 式 報告書作成 1 式
契約担当官等の氏名並びにその 所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 遠賀川河川事務所長 牟田 弘幸 福岡県直方市溝堀 1 － 1 － 1
契 約 年 月 日	令和 6 年 1 2 月 3 日
契 約 業 者 名	令和 6 ・ 7 年度遠賀川水系の持続可能な川づくり方策調査検討業務 北部九州河川利用協会・日鉄鉱コンサルタント設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	福岡県久留米市宮ノ陣 3 － 8 － 8
契 約 金 額	2 6 , 0 7 0 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	2 6 , 1 9 1 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	遠賀川河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 1 2 月 4 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 1 1 月 2 8 日
備 考	入札情報サービス (P P I) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和6・7年度遠賀川水系の持続可能な川づくり方策調査検討業務
2. 履行場所 遠賀川河川事務所管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡県久留米市宮ノ陣三丁目8番8号
会社名：令和6・7年度遠賀川水系の持続可能な川づくり方策調査検討業務
北部九州河川利用協会・日鉄鉱コンサルタント設計共同体
電 話：0942-34-6733

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、遠賀川水系におけるこれまでの河道整備の状況及びその後の出水による堆積等の状況も踏まえた維持管理しやすい川づくり方策について調査検討を行うとともに、流域内での取組について支援等を行うことを目的に実施するものである。

- 2) 業務の内容

本業務は、遠賀川の持続可能な川づくりに向け、UAV測量による河道内の現状把握及び維持管理方策の検討を行うとともに、流域治水の取組を展開するための方策及び河川協力団体等との協働のあり方について検討するものである。

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を28者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「遠賀川上流及び支川における再堆積しにくい掘削断面検討の留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「遠賀川上流及び支川における再堆積しにくい掘削断面検討の留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4 第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

遠賀川河川事務所 流域治水課長